

千葉県文化会館指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設名等

施設名	千葉県文化会館
指定管理者	公益財団法人千葉県文化振興財団
指定管理期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）
評価対象年度	令和3年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	千葉県の文化芸術振興の拠点施設として、県民の文化芸術活動支援や文化芸術の鑑賞機会の拡充等を図る。
指定管理者が行う業務の範囲	① 文化活動のための施設の提供 ② 集会のための会場の提供 ③ 県民の文化芸術の振興を図るための事業の企画及び実施 ④ その他文化会館の設置の目的を達成するための業務

(3) 施設の運営状況

年度	利用者(人) ※1	事業費等の内訳（千円）					(参考) 利用料金
		指定管理 料(A)	その他維持管 理費(B) ※2	使用料等県 収入(C)	県の収支 (C-A-B)		
令和3	271,613	222,167	6,794	142	△228,819	70,727	
(参考) 令和2	75,707	241,897	14,916	108	△256,705	27,395	

※1 カウント方法：施設全体（大ホール、小ホール、大・中練習室、第1・2練習室、第1・2・3・特別会議室）の利用者数

※2 維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費（指定管理料に含まれているものを除く）

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	A	千葉県立文化会館の設置及び管理に関する条例をはじめとする関係法令を遵守した管理運営を行った。個人情報とは適正に管理されていた。県への定期的な報告、日常の相談や連絡等も適切に行われた。
	S	舞台・照明・音響設備については、事前の動作確認を行い、事故防止の徹底を図った。労働安全衛生法の改正を踏まえ、舞台上の高所作業における安全対策の強化を図った。総合防災訓練は、感染症対策の視点を取り入れるなど、実践的な内容により年2回実施し、来館者の安全確保に努めた。新型コロナウイルス感

			<p>染症対策については、主催者との打合せにおいて、感染防止対策の確認を行うとともに、公演のチケット販売において、キャッシュレス決済を新たに導入するなど、感染防止対策の徹底に取り組んだ。</p>
	適切な管理運営	A	<p>警備、清掃等は催し物の状況に応じて適切に実施されており、主催者に対しては、イベント運営や舞台全般に対するきめ細かい助言を行った。職員がサービス介助士の資格を有し、来所者の問い合わせや要望に迅速に対応するなど、あらゆる人が利用しやすい環境整備に努めた。</p>
	適切な財産管理	A	<p>舞台・照明・音響設備については、職員による日常点検と専門業者による定期点検を計画的に行い、適切な維持管理を行った。施設内の不具合を発見した際は、県に速やかに報告するとともに、場合に応じて職員で対応するなど、適切に対処した。</p>
事業の企画運営に関する事項	事業の実施 (必須事業)	S	<p>文化芸術振興事業は、50事業を計画し、新型コロナウイルス感染症の影響により6事業が中止となり、感染防止対策を徹底した上で、44事業を実施した。NHK交響楽団演奏会、プレミアムクラシックシリーズ、劇団四季公演など、本県の文化芸術振興の拠点施設として、多彩な事業を企画した。また、県立文化会館4館連携事業、県内各地におけるアウトリーチ事業、公演のライブビューイングや動画配信など、県立文化会館4館の指定管理者となったことによる新たな事業展開を図り、感染症の影響下においても、県民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組んだ。</p>
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	A	<p>誰もが利用しやすい環境を整備し、利用者からの要望に迅速に対応するなど、サービスの向上に努めた。また、県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館の主催事業の情報が一元化されたイベントカレンダーの作成や文化情報誌の発行、公演チケットの4館取り扱いなど、利便性向上を図った。千葉県公立文化施設協議会の会長館として、加入館向けに情報提供を行うなど、県内文化施設のリーダー的役割を果たすとともに、県内大学への講師派遣やインターンシップの受け入れ、市内の博物館と連携した企画を取り入れるなど、地域との連携促進に取り組んだ。</p>
施設利用状況に関する事項		A	<p>利用人数、利用率、利用回数は、感染症影響前の平成30年度との比較では減少したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設の利用制限等の影響を受けたものであり、やむをえないものと思われる。営業活動など利用促進に取り組み、昨年度との比較では、利用状況は大幅に回復し、大ホール利用率は92.2%（前年度60.5%）となった。また、利用料収入も事業計画を大幅に上回った。</p>
管理運営体制		S	<p>施設を管理運営するために必要な組織、人員配置を整え、適切に運営した。マルチスタッフ制により、利用者ニーズに柔軟に対応し、技術面・芸術面の要望に対しても、職員が専門性を活かし、的確なアドバイスを行った。舞台技術の専門分野及びアートマネジメントに関する研修を設けるなど、職員の能力</p>

		向上に努めた。
収支状況	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、収支は赤字となったが、新たな補助金・助成金や企業協賛金の獲得、経費削減などの努力の結果、赤字幅は最小限となった。
利用者意見の反映 利用者満足度	A	アンケートにより意見や要望を把握し、速やかに対応した。主催者側へのアンケートでは、より多くの声を回収することに努め、施設運営に対する満足度は100%と、利用者から高い評価を得た。
総合評価	良好	各項目の合計点数 23点/30点(77%) 各項目の評価点数の平均点 2.3点

(2) 特記事項

特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、本県の文化芸術振興の拠点施設として、多彩な事業を企画し、感染症の影響下においても、県民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組んだ。 ・施設の管理運営については、利用者が安全に安心して利用できる環境を整えとともに、利用者の目線に立った質の高いサービスを提供し、高い利用者満足度を維持することができた。 ・県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館統一デザインによるホームページの改修、4館の主催事業の情報を一元化したイベントカレンダーの作成や文化情報誌の発行、公演チケットの4館取り扱いなど、一層の利便性向上を図った。文化芸術振興事業においても、4館連携事業を企画するなど、4館連携による新たな事業展開を図った。 ・県立文化会館4館の状況を常に把握し、県立文化会館における危機管理対策の中心的役割を担うとともに、千葉県公立文化施設協会の会長館として、市町村文化施設に対して、施設の管理運営や感染症対策等について助言を行った。
次年度に向けて改善が望まれる点	<p>特になし。</p> <p>なお、令和5年度から、大規模改修により約2年間の休館となるから、休館中の文化芸術振興事業について、県内幅広い地域でアウトリーチ事業を実施し、県民が文化芸術に触れ、親しむ機会の一層の充実に図るとともに、リニューアルオープン後につながる取組を期待する。</p>
前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策については、主催者との打合せにおいて、感染防止対策の確認を行うとともに、公演のチケット販売において、キャッシュレス決済を新たに導入するなど、引き続き、感染防止対策の徹底に取り組んだ。 ・文化芸術振興事業については、施設の特性を踏まえた企画に加え、県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館連携事業を企画するなど、新たな事業展開を図った。

(3) 第三者評価におけるその他の意見

第三者評価は実施していない。